

# うなぎ 市議会だより

令和2年6月定例会  
令和2年8月16日号

No.79



Android版



ios版

第2回表紙デザインコンテスト『広報広聴委員長賞』受賞作品  
作品名：「夏のひととき」  
撮影者：吉池 定則さん

# 上田市議会 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症が市民の生活や事業者の経済活動などに深刻な影響を与えている状況を考慮し、「上田市議会新型コロナウイルス感染症対策会議」を設置して、議会内の対応策について協議や調整を行ってきました。

新型コロナウイルス感染症に対して、市議会が実施した主な対応について報告します。

今後も、市民の皆さまの安心と安全を守るため、議員一丸となって対応してまいります。



## 「上田市議会新型コロナウイルス感染症対策会議」を設置

新型コロナウイルス感染症に関する議会内の対応策を協議し、調整を行うため、正副議長と各会派の代表者で構成する「上田市議会新型コロナウイルス感染症対策会議」を5月7日(休)に設置しました。

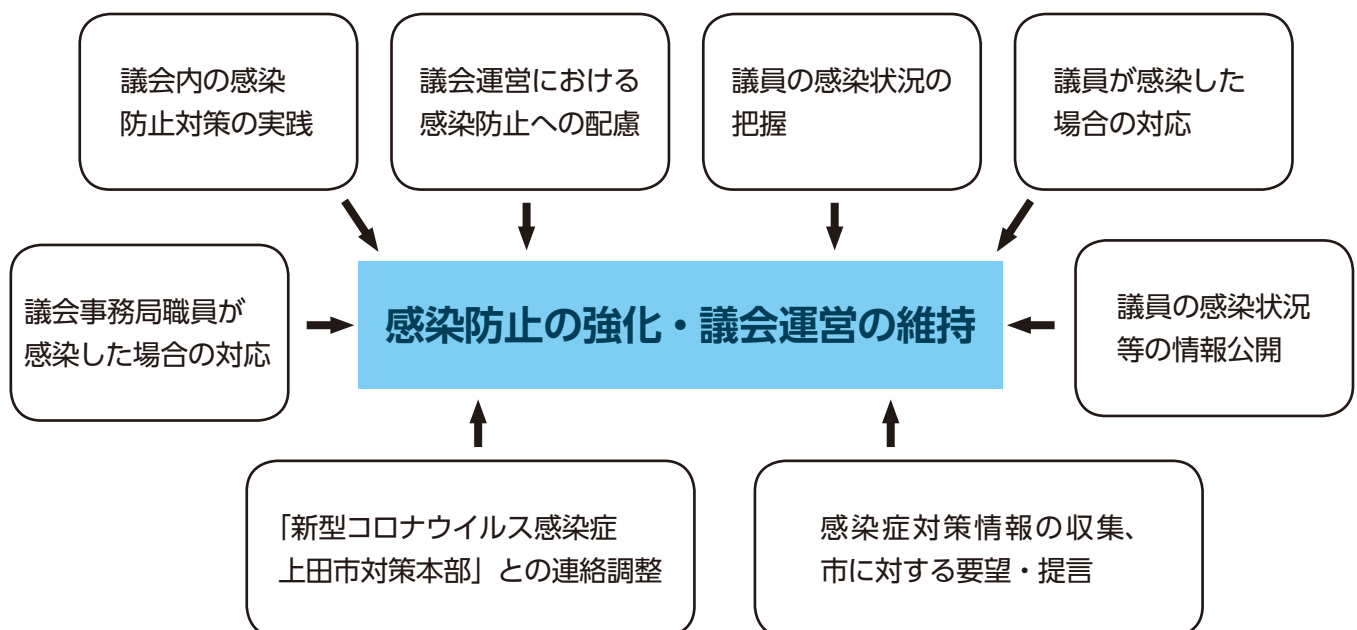
### 構成メンバー

土屋勝浩(議長)、半田大介(副議長)  
尾島勝(新生会代表)、宮下省二(壮志会代表)  
池田総一郎(上志の風代表)、池上喜美子(公明党代表)  
古市順子(日本共産党代表)、松山賢太郎(仁政会代表)



会議の様子

### 対策会議の主な任務





## 上田市に対して要望活動を実施

感染症対策に関して議員に寄せられたご意見やご要望を踏まえ、議会としての要望事項を取りまとめ、市に対して要望活動を行いました。

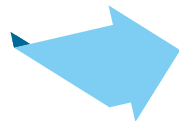
### 第1回 —緊急要望—

**要望日** 5月12日(火)

感染症対策において特に緊急に対処すべきと考える事項について、「緊急要望」を行いました。

#### 要望事項

- No.1 ホームページでの情報発信
- No.2 小中学校を再開する際の判断基準
- No.3 「持続化給付金」に対する市独自の支援策
- No.4 「雇用調整助成金」に対する市独自の支援策
- No.5 テイクアウト応援クーポン券の発行や  
テイクアウト協力金の給付
- No.6 緊急小口資金の相談体制の強化、  
上田市独自の助け合い資金の活用・拡充
- No.7 新型コロナウイルス感染症に便乗した詐欺対策



### 第2回

**要望日** 5月15日(金)

「緊急要望」に引き続き、今後を見通す中で、必要な事項について要望を行いました。

#### 要望事項

- No.1 小中学校における遠隔授業の環境整備
- No.2 小中学校における授業再開後の取り組みなど



## 市長に「要望書」を提出！



## 「要望」はその後どうなった・・・？

**要望 No.3** 「持続化給付金」に対する市独自の支援策

売上減少事業者  
支援給付金

1億  
7,110万円

国の持続化給付金の対象外となることが見込まれる事業者に対して、市独自に支給する給付金

**要望 No.4** 「雇用調整助成金」に対する市独自の支援策

雇用調整助成金  
申請支援事業

1,400万円

中小企業が雇用調整助成金の申請に必要な書類作成を社会保険労務士に委託した場合に、費用の一部を補助するもの



## 6月定例会 感染予防対策を実施

6月定例会では「議事公開の原則」を踏まえつつ、新型コロナウイルスの感染防止に最大限配慮をして議会運営を行いました。

一般質問の日程は短縮しましたが、委員会は日程を短縮することなく十分な審査を行い、議会としてのチェック機能を果たしました。



### 対策1 一般質問の日程を短縮

議場は十分な換気が難しい中で、議員や市長、市職員など多くの人が出席することなどを考慮し、一般質問の日程を短縮しました。

通常の日程、質問者数	6月定例会の日程、質問者数
<ul style="list-style-type: none"> <li>○3日間</li> <li>○一定例会につき1人1回まで</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1日のみ</li> <li>○質問者は各会派から1人のみ (会派の意見を取りまとめ、代表者が質問する「代表質問」を実施)</li> </ul>
通常の質問時間	6月定例会の質問時間
【個別質問】45分間	所属議員が4人の会派は45分間とし、所属議員が1人増えるごとに質問時間を5分追加する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○新生会(8人):65分間</li> <li>○壮志会(5人):50分間</li> <li>○上志の風・公明党・日本共産党・仁政会(4人):45分間</li> </ul>



### 対策2 議場の傍聴席で感染防止対策を実施

傍聴者同士の距離を適切に保つため、間隔を空けてご利用いただきました。



### 対策3 委員会を通常より広い会場で開催

委員会審査は、議員や市職員が同じ空間に長時間滞在することから、「密集」や「密接」を避けるため通常よりも広い会場で開催しました。

- 総務文教・産業水道・環境建設委員会 → 市役所本庁舎・大会議室
- 厚生委員会 → 中央公民館・大会議室



## 議員報酬を独自減額

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、地域経済を取り巻く環境が急激に悪化している状況を踏まえ、市民生活や市内経済の支援策に充てるため議員報酬の独自減額を実施しました。

報酬の減額総額	87万2千円余
報酬月額減額率	議長 3% 副議長 2% 議員 1%
減額期間	7月から12月まで

#### 条例で定められている議員報酬月額

- 議長 54万2千円
- 副議長 47万5千円
- 議員 44万3千円



## 政務活動費を独自減額

各会派に交付される「政務活動費」についても、議員報酬と同様に独自減額を行いました。

政務活動費の活用目的などについては、17ページをご覧ください。

●減額総額 **174万円**（内訳）議員1人当たり**6万円**を減額

●各会派への交付額

会派名（所属人数）	通常の交付額	減額後の交付額
新生会（8人）	192万円	144万円
壮志会（5人）	120万円	90万円
上志の風（4人）	96万円	72万円
公明党（4人）	96万円	72万円
日本共産党（4人）	96万円	72万円
仁政会（4人）	96万円	72万円

● 条例で定められている  
政務活動費の交付額

● 4月1日における会派  
の所属議員数に年額  
24万円を乗じた額



## 新型コロナウイルス感染症対策について ご意見を募集！

市民の皆さまの声を取り入れた議会活動の展開や今後の議論などに活かしていくため、新型コロナウイルス感染症対策についてご意見を募集します。皆さまの声をお寄せください。

### 提出方法

#### ■募集するご意見

新型コロナウイルス感染症対策に関するご意見

#### ■提出方法

- ①Eメール（gikai@city.ueda.nagano.jp）
- ②上田市議会フェイスブックまたはツイッターからメッセージを送付



- ③FAX（23-5136）
- ④郵送（〒386-8601（住所記載不要）上田市議会事務局宛）

#### ■募集期間

9月16日(水)まで

#### ■注意点

- ①氏名を必ず明記してください。
- ②ご意見に対して、個別の回答はいたしません。
- ③ご意見の内容を市議会だよりや市議会ホームページ等に掲載する場合があります。
- ④電話など口頭によるご意見の受付は行いません。

# 臨時会を開催



臨時会の会議録は、会議録検索システムからご覧いただけます。

**5月  
臨時会**

新型コロナウイルス感染症  
緊急経済対策として

**1人につき  
10万円を給付**

1人につき10万円を給付する「特別定額給付金」などが計上された「令和2年度一般会計補正予算（第1号）」を審議するため、5月臨時会が5月7日に開かれました。

特別定額給付金の給付時期や申請方法などについて質疑を行うなど、慎重に審議を行った結果、全会一致で可決しました。

**特別定額給付金  
給付事業**

**158億  
3,636万円**

家計への支援を行うため、給付対象者1人につき10万円を給付するための経費

**子育て世帯への臨時  
特別給付金給付事業**

**2億  
59万円**

子育て世帯の生活を支援するため、児童手当の対象児童1人につき1万円を給付するための経費

**5月  
(第2回)  
臨時会**

PCR検査の  
検体採取を行う

**「上田地域  
検査センター」を設置**

「上田地域検査センター」の設置経費や指定避難所における感染症対策経費、売り上げが減少している事業者への給付金などが計上された「令和2年度一般会計補正予算（第2号）」を審議するため、5月（第2回）臨時会が5月21日に開かれました。

指定避難所で使用する感染症対策用品の購入計画や地域検査センターの運営などについて質疑を行うなど、慎重に審議を行った結果、全会一致で可決しました。



採決の様子

**主な事業をピックアップ**

**地域検査センター  
運営事業**

**4,733万円**

県からの委託を受けてPCR検査の検体採取を行う、地域検査センターの設置経費

**避難所における  
感染症対策事業**

**1,000万円**

指定避難所における感染症対策に必要なマスク等衛生用品及び間仕切り用パーテーション等の購入経費

7月  
臨時会

市民生活や市内経済の  
支援策に充てるため

## 政務活動費を 独自減額

政務活動費を独自減額するための条例改正や、事業者の支援と消費の喚起、市民の暮らしへの支援などが計上された「令和2年度一般会計補正予算(第4号)」を審議するため、7月臨時会が7月9日に開かれました。

「公共交通緊急支援事業補助金」の補助金額の設定根拠や、「出産・育児支援特別給付金」の申請方法などについて質疑を行うなど、慎重に審議を行った結果、全会一致で可決しました。

### 主な事業をピックアップ

#### 学生納付金減免 事業補助金

5,824万円

公立大学法人長野大学が独自に実施する学生納付金減免事業に対する補助

#### 出産・育児支援特別 給付金給付事業

5,536万円

令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生し、市内に住民登録をした子ども1人につき5万円を給付するための経費

#### 消費喚起応援事業

4億  
1,000万円

売り上げが減少した市内飲食店等の支援とキャッシュレス決済の普及促進を図るため、モバイル決済を利用した支払いに対してポイントバックキャンペーンを実施するための経費

#### 公共交通緊急支援 事業補助金

5,600万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入減少や感染症防止対策のための負担が増加した、公共交通事業者等に対する補助

キャンペーン期間 8月10日～9月22日

対象

路線バス、貸切バス、タクシー、  
運転代行事業者

ミニ知識

予算が執行されるまでに、市議会はどのような役割を果たしているの…?

国会 予算を可決 4/30

上田市議会 5/7

- 予算案を委員会で審査
- 本会議で採決→可決

5/7 上田市

予算案を市議会に提出

「特別定額給付金」を例にご説明します。

特別定額給付金

ここに注目!

市民の皆さまへ速やかに給付金をお届けするため、「臨時会」を開催して予算案の審議を行いました。

5/22

市民の皆さまへ  
申請書を送付

市議会は「議事機関」と呼ばれ、市長から提出された議案などについて審議の上、議決します。  
予算や条例は、市議会の議決がなければ、法的な効力が生じません。

会 期 6/8から6/25まで（18日間）

議案数 条例案12件、予算案4件、事件決議案5件、専決処分10件、意見書1件  
合計32件を全て可決または承認と決定

一般質問 (代表質問) 6会派

## 条例

手話言語の普及・視聴覚障がい者などの意思疎通手段等の利用促進に関する条例制定など全12件

可決

### ◆「手話言語の普及及び視聴覚障害者等の意思疎通手段等の利用促進に関する条例制定」

手話言語の普及及び視聴覚障がい者等の意思疎通手段等の利用を促進していくため、市の責務や市民及び事業者の役割等を定めるもの

### ◆「交流文化芸術センター条例中一部改正」

健全な施設運営を行っていく体制構築に向けた、常設の運営協議組織を設置するため、必要な改正を行うもの

### ! 「新型コロナウイルス感染症対策」に係る主な条例改正

#### ◆「市税条例中一部改正」

地方税法の改正に伴い、市税の徴収猶予に係る特例や中小企業者等に対する固定資産税の軽減措置を設けるなど、必要な改正を行うもの

#### ◆「特別職の職員等の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例中一部改正」

新型コロナウイルス感染症により、地域経済を取り巻く環境が急激に悪化していることから、市長・副市長・教育長の給料及び市議会議員の報酬を減額するため、必要な改正を行うもの

## 報告

「専決処分した令和元年度一般会計補正予算第11号」など全10件

承認

### ◆「令和元年度一般会計補正予算（第11号）」

事業費の確定見込みによる調整や、新型コロナウイルス感染症の影響等により利用者が減少した施設に対する管理運営業務委託料の追加計上などを行ったもの

議案の審査結果は市議会ホームページからご覧いただけます。



## 意見書を可決

### 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額を求める意見書

総務文教委員会から提出された意見書について審議を行い、全会一致で可決しました。

可決した意見書は、国会や関係する行政機関に提出しました。

意見書の内容は、市議会ホームページからご覧いただけます。





# 6月定例会の概要

予算

議員報酬を  
独自減額

一般会計補正予算

可決

一般会計補正予算の主な事業をピックアップ 

◆議員人件費 87万円（減額）

議員報酬を独自に減額するもの

◆職員人件費 104万円（減額）

市長、副市長、教育長の給料を減額するもの

◆交流文化芸術センター運営事業 20万円

交流文化芸術センターの運営状況などを調査、  
審議する協議会の委員報酬

◆武石地域総合センター整備事業 549万円

武石地域自治センター（現庁舎）などの解体実  
施設計業務委託料など



武石地域総合センターイメージ図

◆市庁舎改修・改築事業 2,746万円

【債務負担行為】1,635万円

本庁舎解体実施設計業務委託料など

◆中小企業IoT等導入支援事業 385万円

IoT等創出事例研究会の開催経費や、設備導  
入に対する補助金

◆医師確保修学資金等貸付事業 480万円

医学生に対して貸し付けを行う修学資金

<新規申請者2人分>

◆GIGAスクール構想推進事業

7億2,860万円

「GIGAスクール構想の実現」に向けた小中  
学校内通信ネットワークの整備費など

予算の概要は上田市ホーム  
ページからもご覧いただけます。



事件  
決議

「自然運動公園総合体育館」の耐震補強・大規模改  
修に係る請負契約の締結など全5件

可決

◆自然運動公園総合体育館耐震補強及び大規模改  
修事業建築主体工事請負契約の締結について

自然運動公園総合体育館の耐震補強工事及び大  
規模改修工事に係る請負契約の締結について、議  
決を求めるもの

契約の金額 3億305万円



自然運動公園総合体育館

## 総務文教委員会

●6月17日及び25日に開催し、条例案5件、予算案1件、事件決議案2件、報告4件、陳情1件の審査を行いました。

### 一般会計補正予算

**問** 市内の小中学校へのエアコンの整備と「GIGAスクール構想推進事業」の実施により、小中学校の電気料金は大幅に増えると予想される中で、どのような対応をとるか。

**答** 本庁舎等と小中学校は異なる電力会社と契約しており、比較すると本庁舎等と同様の電力会社にした場合、小中学校全体で3千万円から4千万円程度の

電気料金の削減が見込めることから、本庁舎等と同じ電力会社と契約することを予定している。

### 専決処分した令和元年度一般会計補正予算の承認

**問** 防災情報伝達システム基本計画

等策定業務委託料は、当初予算が500万円である中で、入札差金が生じたことから70万円余を減額することだが、落札率が低い中でも実績のある業者が受注しているか。

**答** 入札参加の要件として実績に関する項目を設けたことから、受注業者は、実績のある業者である。

## 産業水道委員会

●6月18日に開催し、予算案2件、報告1件の審査を行いました。

### 一般会計補正予算

**問** 「事業継承M&A支援事業委託料」は、後継者不足等により事業の継続が困難となる事業者に対して、円滑な事業継承やM

&Aの支援を行うとのことだが、市外企業に買収された場合、雇用やサービスは維持される一方、上田市の税収が減少するデメリットも生じるが、見解はどうか。

**答** 本社機能が市外に移転するデメリットも考えられるが、業績が好調であっても後継者不足などにより廃業を余儀なくされる事業者がある現状において、雇用やサービスの維持を第一に考え施策化したものである。

また、市外からの資本流入による市内経済の活性化や、現在展開している事業の買収により新たな起業が容易になり、移住の促進も期待できるなど、さまざまな効果を見込んでいる。

常

任

委

員

会

の

審

査

概

要

●6月17日に開催し、条例案7件、予算案3件、報告6件の審査を行いました。

とである。

**問** 制定後の上田市の具体的な取り組みはどうか。

**答** まずは職員が条例の趣旨を理解し、手話を学んだり、幼児期から手話や点字等を学ぶ機会を創出など、ゼロ予算でできることを含め検討したい。

**手話言語の普及及び視聴覚障害者等の意思疎通手段等の利用促進に関する条例制定**

**問** 制定に当たり上田市として特に配慮したことは何か。

**答** 条例の名称のとおり、手話言語の普及のみにとどまらず、視聴覚障害者の後に「等」を入れ、対象者の幅を広げたこと、意思疎通手段においても情報の取得や利用手段等を含めたこ

**問** あいそめの湯の今後の運営費の見通しはどうか。

**答** 前年度実績の15%減を想定しているが、指定管理期間が令和5年度にわたるため、状況を踏まえて慎重に対応したい。

**一般会計補正予算**

**一般会計補正予算**

●6月18日に開催し、予算案1件、事件決議案3件、報告2件、陳情1件の審査を行いました。

より担当課と調整したい。

**専決処分した令和元年度一般会計補正予算の承認**

**問** 別所線代替輸送事業補助金を約1200万円減額補正しているが、理由は何か。

**答** 当初予定していた各区間の輸送単価が見積額よりも安価であったことや新型コロナウイルス感染症の影響による利用客の減少に伴い、輸送台数も減少したことによるものである。

**問** 国土強靱化地域計画について、上田市総合計画との関連性はどうしているか。

**答** 上田市総合計画は分野別の計画の指針であり、国土強靱化地域計画は国土強靱化に関する指針であることから、個別に扱うべきと考えるが、現在策定中の第二次上田市総合計画後期まちづくり計画の中に、国土強靱化地域計画の文言を追加する

厚生委員会

環境建設委員会

# 会派を代表した 6人の議員が市政を問う

## 6月定例会一般質問要旨

6月定例会では、一般質問を6月15日に行いました。

答弁者名は以下のとおり省略して記載しています。

市長…市長	教育長…教育長
政策企画…政策企画部長	総務…総務部長
財政…財政部長	市民まち…市民まちづくり推進部長
福祉…福祉部長	健康こども…健康こども未来部長
商工観光…商工観光部長	

掲載記事は、質問議員本人が作成しており、質問全体の一部を要約したものです。  
質問全体の内容については、会議録に掲載しています。会議録は、議会事務局、市内図書館、公民館および上田市議会ホームページからご覧いただけます。  
なお、一般質問の様子は上田ケーブルビジョンおよび丸子テレビ放送のご協力により、生放送および録画放送を行っています。



### 新型コロナウイルス感染症

代表質問 佐藤 諭征 (新生会)

**問** イベントなどが中止になっている情勢を踏まえ、当初予算を組み替える考えはあるか。

**答** (財政) 上半期の事業で当初予算の減額措置が可能なものについては精査を行い、必要な事業へ財源を組み替えるなど、調整が必要になるものと考えている。

**問** 令和元年度は台風災害への対応で財政調整基金の取り崩しを行っており、今年度も新型コロナウイルス感染症対策のために基金を取り崩しているが、財政調整基金はどの程度まで取り崩しが可能と考えているか。

**答** (財政) 市全体の基金の状況を踏まえると、現段階においては標準財政規模の5%、20億円程度の維持が安定的な財政運営の観点からも必要であると考えられる。

**問** 災害発生時に最も身近な避難場所となる、各

自治会の公民館など第一次避難場所での感染対策はどうか。

**答** (総務) 自主防災組織活動マニュアルに避難場所開設時の感染症対策に関する項目を追加する他、自主防災組織防災用資器材購入補助事業を活用した衛生用品の備蓄の推進、先進的な活動事例の紹介など、自主防災組織が避難所運営を行う際に必要な対策を講じることができるよう、引き続き支援していく。

**問** オンライン学習に対応するため、国の補助事業を活用して児童生徒1人1台の端末を早期に導入すべきと考えるが、見解はどうか。

**答** (教育長) 国の補助事業を積極的に活用して学校のICT教育環境整備を進めたいと考えているが、端末整備の補助を受けるためには、まず校内ネットワークを整備する必要があるため、今議会に関係予算を計上している。なるべく早い段階で児童生徒1人1台の端末整備に関する予算を計上したいと考えている。



## 新型コロナウイルス感染症対策

代表質問 宮下 省二 (社志会)

**問** 第二次上田市総合計画後期まちづくり計画の中間答申には、新型コロナウイルス感染症対策に関する項目が含まれていないが、市長の見解はどうか。

**答** (市長) 感染症が地域経済や市民生活に与える影響を熟慮する中で、市民への情報提供や関係機関と連携した予防対策などについて再度検討し、最終答申に向けた総合計画審議会でも審議をいただき、必要かつ効果的な対策を盛り込んでまいりたいと考えている。

**問** 新型コロナウイルス感染症に関する市民相談窓口の開設状況や、新型コロナウイルス感染症を含めた病気に関する相談状況はどうか。

**答** (健康こども) 県内で初めて感染者が確認された日の翌日2月26日に上田市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置するとともに、

体調・健康に関する相談窓口を開設した。健康推進課と新型コロナウイルス感染症対策室への相談件数は435件あり、その内発熱やせきなどの有症状相談は約60件で、上田保健福祉事務所の有症状者相談窓口を案内するなどの対応を行った。

**問** 市内の商店や飲食業、旅館業に対し、市独自財源を活用して単独事業を行う考えはどうか。

**答** (商工観光) 旅館・ホテル業事業者支援金支給事業や、国の持続化給付金の対象とならない売上減少率30%以上50%未満の小規模事業者を支援するための売上減少事業者支援給付金を創設し、鋭意取り組んでいる。

**問** 市役所がワンチームとなって緊急業務に対応するための応援体制の構築が必要と考えるが、どうか。

**答** (総務) 特別定額給付金事業では市民の皆さまに一日も早くお届けするため、申請書発送業務を約280人動員して1日で行った。今後も職員一丸となって取り組んでまいりたい。



## 新型コロナウイルスとの共存社会に向けた上田市の施策

代表質問 池田 総一郎 (上志の風)

**問** コロナ禍によって大都市圏人口の地方への分散が加速することが見込まれるが、これを好機と捉え、首都圏の企業に対して一層の移住プロモーションを行うべきと考えるがどうか。

**答** (市民まち) コワーキングスペースやサテライトオフィスの設置による移住者の増加が今後見込まれるため、現在これらの施設を利用している方とつながりがある民間事業者に対し、上田での暮らしやすさや魅力が伝わるようなパンフレット等を作成し、送付するなどの取り組みを進めたいと考えている。また、空き家バンクの利用促進に向けて、補助制度の拡充も検討していきたい。

**問** 今定例会にはGIGAスクール構想の実現に向けたネットワーク環境整備費として7億円を超える経費を計上しているが、子どもたち

の人間形成や人材育成の観点から、本構想をどのように位置づけ、活用する考えか。

**答** (教育長) インターネット等を活用し遠隔地の方とコミュニケーションを取ったり、自分の地域以外の環境を知るなど多様性に気づくことで、相手に寄り添う気持ちや相手の考え方を尊重し、自分の生き方や社会に貢献する考えなどを持てるような授業の活用方法があり、今後研究を進める必要がある。また、休校中にウェブ会議システムを利用して学活などのコミュニケーション活動を行った学校では、不登校傾向の児童が参加し、友達の顔を見たり話したりすることで学校へ行く意欲が湧いてきたとの報告もあった。GIGAスクール構想によるICT機器を活用し学習以外の利用方法等を今後も研究し、児童生徒の学校生活を充実させていきたいと考えている。

### ●その他の質問項目

#### 1. 観光業支援施策



## 生活・子育て支援

代表質問 池上 喜美子 (公明党)

**問** (仮称) 臨時特別出産祝い金を創設し、特別定額給付金の対象外となる4月28日以降に誕生した新生児へ支給する考えはあるか。

**答** (健康こども) 経済的、精神的に負担が増した妊婦の方などに対して支援を行う必要性は高いものと考えており、早急に検討を進める。

**問** 大学生などに対して、市内飲食店で使用できるクーポン券を支給する考えはあるか。

**答** (政策企画) 市内飲食店の支援も兼ねた方策として有効と思われるが、現在は学生の生活実態がつかみづらいことから、今後の状況や学生の声も参考にしながら判断していく。

## 災害時の感染症対策を盛り込んだ避難体制

**問** 避難所運営マニュアルの再点検と見直しを行う考えはあるか。



## 新型コロナウイルス感染症への市の対応

代表質問 久保田 由夫 (日本共産党)

**問** 「コロナ危機」が上田市の地域経済へ与えた影響をどのように捉えているか。

**答** (市長) リーマンショックはサブプライムローンを発端とした金融不安に起因する経済危機であり、今回は新型コロナウイルスに起因する世界的な社会経済活動の停滞に伴い人や物の動きが停滞しているため、幅広い分野に影響が及んでいる点がリーマンショックとの相違点である。

**問** 社会福祉協議会が窓口になっている総合支援資金貸付や緊急小口貸付の実態はどうか。

**答** (市長) 3月25日の制度見直し以降、これまでに緊急小口貸付が約300件、総合支援資金貸付が約70件となり、昨年の同時期には両制度を合わせて2件のみであった状況とは大きく様変わりしている。

**答** (総務) 避難所運営に特化したマニュアルを整備予定であり、早期に整備を行い、検証を重ねて精度を高めていきたいと考えている。

**問** 民間宿泊施設の借用など、分散避難の実施に向けた準備状況はどうか。

**答** (総務) 市内のホテル旅館組合等と順次協議を行っており、必要事項を今後調整していく。

## 子どもの心の支援

**問** 子育て支援などの実績がある民間団体を活用して、国の支援事業を実施する考えはあるか。

**答** (健康こども) 支援対象児童等見守り強化事業の活用も視野に入れつつ、きめ細やかな取り組みを教育委員会等と連携して進める考えである。民間団体の活用も研究していく。

### ●その他の質問項目

1. 新型コロナウイルスの感染症対策の基本的な考え方
2. 事業者支援
3. 児童生徒の学びの保障

**問** 市長は「国の補正予算を最大限活用する」としているが、現状と今後の見通しはどうか。

**答** (福祉) 特別定額給付金事業は6月12日までに約95%、約6万5,000世帯から申請があり、約6万世帯、約141億円を給付済みである。

**答** (商工観光) 制度融資は3月から5月までの間に289件の申し込みがあり、融資や補助金申請の際に必要なセーフティネット保証の認定は542件の申請があった。4月から新たに1名雇用して職員体制の充実を図り、迅速な処理に心がけている。旅館・ホテル業事業者支援金は、全事業者197軒に制度の案内を発送し、6月11日時点で受付件数は125件となっている。

### ●その他の質問項目

1. 市政の重要課題



## コロナ対応の各種地元復興支援策

代表質問 松山 賢太郎 (仁政会)

**問** 観光政策面における梶子ワイナリーの活用方針や、キリングroupとのさらなる連携強化に対する見解はどうか。

**答** (市長) 日本ワイナリーアワード2020で梶子ワイナリーを含むシャトー・メルシャンが最高賞である5つ星を獲得されたことは、国内屈指のワイナリーであることが評価された証しであり、上田市の振興や発展に資するものであると考えている。キリングgroupとは「ワイン産業振興を軸とした地域活性化に関する包括連携協定」を昨年締結しており、連携を深めることでワイン産業の振興を図り、ワインと関連した食産業や観光業などによる地域発展をスピード感を持って進めたいと考えている。

**問** ウェブやIoTを活用した上田地域限定の電

子商取引体制を構築することにより、地元経済の活性化を図る考えはあるか。

**答** (商工観光) 新型コロナウイルス感染症の影響により、身近な地域での消費行動が定着していくことが十分考えられる。このような消費行動等への対応として、地域通貨のような仕組みが再び見直される可能性が高くなるのではないかと捉えている。香川県高松市発祥の「めぐりんマイル」は、地元での買物や地域活動に対してポイントが付与され、そのポイントは地域内で様々な消費活動に利用できるといった地域内循環の経済構造を持っており、消費行動の喚起に併せてコミュニティの活性化等、地域振興にも寄与している特徴がある。新しい生活様式への発展的な対応として、デジタル通貨などウェブ等を利用した電子商取引について、情報収集や先進地視察を行いながら、スピード感を持って研究を推進していきたいと考えている。

## 傍聴者の声

### 本会議を傍聴されたみなさんの声

～こんなご感想・ご意見をいただきました～

6月定例会本会議の傍聴者数は延べ27人でした。

傍聴された皆さんから寄せられた、ご感想やご意見の一部を紹介します。

●市民一人ひとりが身近な政治に関心を持つため、可能な限り議会を傍聴すると良いと思った。

(50代・女性)

●様々な場所で、新型コロナウイルス対策が行われていることを知ることができた。(20代・女性)

### 議会を傍聴しませんか

**議** 会では、皆さんの身近な問題や上田市の予算や政策など、さまざまな事柄について、活発な議論が交わされています。

**Q** 傍聴ができる方は？ **A** どなたでも議会の傍聴ができます。

**Q** 事前の手続きは？ **A** 市役所本庁舎5階の議会事務局で受付をして傍聴券を受け取ってください。氏名などをご記入いただく必要はありません。

**Q** 予約は必要？ **A** 必要ありません。  
(大人数で傍聴にお越しの際は事前にご相談ください。)



9月定例会は **8月31日** 開会予定です。

日程が決まりましたら、  
8月下旬に市議会ホームページに掲載します。



## みなさまからの陳情 2 件を審査

陳情番号	件名	提出者	審査結果
陳情第 3 号	上田市民会館の再利用に関する陳情	松本 涼 氏	不採択
陳情第 4 号	資源循環型施設建設候補地撤回に関する陳情	茅野孝雄 氏 ほか 5 人	不採択

### 皆さんの要望を市議会に請願・陳情できます

市議会では、皆さんの要望などを請願や陳情として受け付けています。  
提出された請願や陳情は内容を審査し、採択か不採択を決定します。

#### 請 願

所管する委員会に付託して審査を行い、その結果をもとに、本会議で結論（議決）を出します。  
請願は紹介議員が必要で、紹介議員は 2 人以内です。

#### 陳 情

受理された場合は所管する委員会に付託して審査を行いますが、本会議での議決は行わず、委員会の審査結果を本会議で報告します。紹介議員は必要ありません。

#### 記 載 要 件

- ・日本語を用いること
- ・議長宛てであること
- ・次のことが記載されていること

趣旨、提出年月日、住所及び氏名（※法人の場合はその名称及び代表者の氏名）、請願・陳情者の押印、紹介議員の署名または記名・押印（※請願の場合）

#### 趣 旨 説 明

請願・陳情の趣旨を明確にするために、提出者の希望によりその趣旨を説明する機会を設けています。詳細は議会事務局にお問い合わせください。

9 月定例会で審議・審査する請願・陳情の提出期限

**9 月 1 日(火) 午後 3 時**

詳細は上田市議会ホームページをご覧ください





# 令和元年度 政務活動費収支報告

政務活動費を活用して、調査研究などを行いました！

上田市議会では「上田市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するための必要な経費の一部を政務活動費として交付しています。

政務活動費の額は議員一人当たり年額 24 万円で、各会派に対して所属する議員の人数分の額が交付されています。(ここにいう会派には、所属議員が 1 人の場合を含みます)

政務活動費の収支報告書の提出に当たっては、議会内の取り決めにより、全て領収書をつけて報告することとしており、その内容については議会事務局をご覧ください。



## 収支報告

(単位：円)

会派名	新生会	壮志会	上志の風	公明党	日本共産党	会派に所属していない議員	
交付額 (預金利息含む)	2,640,012	1,200,003	960,004	960,003	960,004	240,000	
支 出	調査研究費	2,370,317	774,134	816,092	673,017	312,655	129,424
	研修費		383,238	139,193	136,434	498,836	60,488
	広報費						
	広聴費						
	要請・陳情活動費				12,640		
	会議費						
	資料作成費				72,338	113,682	
	資料購入費	63,300	3,540	3,920	12,610	23,792	27,286
	人件費						
	事務所費						
	その他の経費						
支出計	2,433,617	1,160,912	959,205	907,039	948,965	217,198	
残額 (戻入額)	206,395	39,091	799	52,964	11,039	22,802	



## 政務活動費を充てることのできる経費

政務活動費を充てることのできる経費は、条例で定められています。

条例は、ホームページからご覧いただけます。



項目	内容
調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に要する経費
研修費	1 会派が行う研修会の実施に要する経費 2 団体等が開催する研修会への所属議員の参加に要する経費
広報費	会派が行う市政及び会派の活動に関する住民への報告に要する経費
広聴費	会派が行う住民からの市政及び会派の活動に対する要望及び意見の聴取、住民相談等に要する経費
要請・陳情活動費	会派が行う要請・陳情活動に要する経費
会議費	1 会派が行う各種会議の開催に要する経費 2 団体等が開催する意見交換会等各種会議への所属議員の参加に要する経費
資料作成費	会派が行う活動のために必要な資料等の作成に要する経費
資料購入費	会派が行う活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
人件費	会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	会派が行う活動のために必要な事務所の設置及び管理に要する経費

# 上田市議会 会派紹介

令和2年4月から新たな会派構成になったことから、各会派について紹介します。

2  
ニ  
知  
識

## 会派とは・・・？

市政に対して同じ考えや意見を持った議員が集まり、自分たちの考えを議会の場で反映させるために設置する団体です。上田市議会では、3人以上の所属議員で構成されることが条件です。各会派には議員控室が割り当てられるほか、会派単位で政務活動費が支給され、市政に関する調査・研究などを行っています。

### 新生会

代表 尾島勝 代表代理 佐藤論征  
石合祐太 斉藤達也 齊藤加代美 井澤毅 土屋勝浩 林和明

我々「新生会」は平成18年の上田市合併時に  
結成され、現在まで続く会派となっています。

所属議員は男性7名、女性1名の合計8名で、  
年齢構成は30代2名、40代2名、50代3名、  
60代1名となっています。また、選出地域が上  
田市内の広範囲に渡っており、さまざまな世代や  
地域の皆さまの声を代弁しています。

所属議員それぞれの強みを活かして積極的に情

報交換を行っている他、定期的な勉強会を開催し  
ており、変化の激しい現代において、新たな考え  
方などに即応できるよう研鑽を重ねています。

これからも「元  
氣な上田市を築  
く」という会派理  
念を胸に、活動を  
続けていきます。



### 壮志会

代表 宮下省二 代表代理 原栄一  
金井清一 佐藤清正 小林隆利

「壮志会」は発足して3年目を迎えました。会派  
の基本的な考えとして、市政の課題解決に向けて  
先進地視察等を実施し、提案等を行ってまいりま  
した。一例として、老朽化し危険な空き家の解体  
等について、県内塩尻市や国内で最も取り組みが  
進んでいる千葉県柏市の先進事例に学びました。

今後は、市中央部に位置する327ヘクタール  
余の東山市有林の有効活用策を提案したいと考え

ており、会派内に調査研究組織を設け具体化を図  
ります。さらに、市の最重要課題である資源循環  
型施設建設や公立大学法人長野大学の大学改革、  
防災、健康対策等  
に積極的に関わ  
り、市政発展のた  
め鋭意活動してま  
いります。



### 上志の風

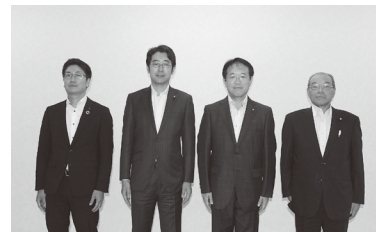
代表 池田総一郎 代表代理 飯島伴典  
中村悠基 南波清吾

我々「上志の風」は上田市民が安心安全に暮ら  
せるまちづくりという視点に加え、10年後の上  
田市の全体像を具体的に描きながら、行政に対し  
て政策提言を行っていくという視点で活動してい  
る会派です。

新型コロナウイルス感染症に対しては、4月8日  
に感染者用病床50床以上を市内に確保することや、  
PCR検査センターの早期設置などについて市長に

提言しました。また、6月16日にはバスやタクシー  
の自動運転を見据えた実証運行の可能性について、  
民間企業の方と意見交換を行うなど、公共交通の  
将来像を見通す活  
動も始めています。

上志の風の今後  
の活動にご期待く  
ださい。



## 公明党

代表 池上喜美子 代表代理 金沢広美  
松尾卓 半田大介

公明党上田市議団は、4人の議員が所属する政  
党会派です。私たちは日頃から「現場第一主義」  
に徹し、各議員に寄せられたあらゆる立場の市民  
の声やその思いと共に、調査研究をした政策を機  
会に応じて議会や市長に提言しています。

昨年の東日本台風や新型コロナウイルス感染症  
への対策と共に、新年度に向けた予算政策提言書  
を市長に対して毎年提出するなど、市民の声が市

政に反映されるよう活動しています。

前期を折り返す第二次上田市総合計画や2030年  
の目標達成を目指す国連の「持続可能な開発目標(S  
DGs)」自治体版  
から未来につながる  
市政に向け、今  
後も懸命に活動を  
してまいります。



## 日本共産党

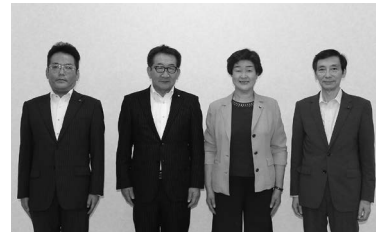
代表 古市順子 代表代理 渡辺正博  
成瀬拓 久保田由夫

日本共産党上田市議団は、新型コロナウイルス  
感染症対策に関する市民の声を集め、市長や教育  
長に対して3回にわたり緊急申し入れを行いました。  
臨時休業への対応や医療検査体制の充実、市民  
負担の軽減、緊急経済対策などが主な内容です。

また、毎年11月に市民や団体の要望を「予算  
要望書」にまとめ市長に提出し、市の施策に活か  
すよう要望しています。これまでも集中豪雨や大

雪、台風災害では、被災者の声を届けてきました。

日本共産党は国民の苦難軽減が立党の精神です。  
この立場で、市民の雇用と営業、暮らし、人権を  
守るために県議や  
国会議員とも連携  
して活動していま  
す。



## 仁政会

代表 松山賢太郎 代表代理 金子和夫  
小坂井二郎 西沢逸郎

「仁政会」は上田市および市民の皆さまに対し  
て、「最大限の地元発展に志を持って寄与する事」  
を掲げ、今年4月に結成した新しい会派です。

メンバーは独特の視点や感性を持つ超個性派集  
団であり、行動力と実行力が旺盛です。上田が大  
好きな同志が一致団結して、各種課題に対して具  
体的な政策提言を積極的に実施するとともに、さ  
らに踏み込んで行政関係者や市民の皆さまと協働

しながら、誰もが実感する理想的な「わがまち上  
田」を目指して日々実践しています。

ぜひ皆さまのご意見やご要望を教えてください。  
一緒に考え、行動  
して、上田をさら  
に良くしてまいり  
ましょう。



### マチイロ

マチを好きになるアプリ

市議会だよりは、スマートフォン  
やタブレット向けのアプリ「マチ  
イロ」からもご覧いただけます。



Android版



ios版

お知らせ

上田市議会フェイスブックとツイッター  
でも議会の活動をお知らせしていますので、  
ぜひご覧ください。



# 上田市議会「議会報告会」

議会内の情報や市政に関する情報を議員が直接報告・説明するとともに、市民の皆さまの声をお聞きする「議会報告会」を開催します。

今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、**インターネットによるライブ中継で開催**します。

なお、インターネット環境のない方については、会場にご来場いただいて参加することもできますが、感染症対策のため事前申し込み制（定員 30 名）とさせていただきます。

## どなた様も参加できる報告会

▶ 日時 10月17日 午後 2時から 3時 30分まで

### ▶ オンラインでの参加方法

YouTube ライブ (youtube.com/user/cityuedagakai) から配信します。

最新情報及び視聴方法は、上田市議会ホームページまたはフェイスブック、ツイッターでお知らせしますので、市議会 SNS のフォロー並びにチャンネル登録をお願いします。

### ▶ 来場される場合の参加方法

「氏名、住所、電話番号」を明記の上、9月25日（金）までにお申し込みください。

会場は、「上田市マルチメディア情報センター」となります。詳しくは郵送でご案内いたします。

なお、会場の様子はライブ中継されますので、ご承知おきください。

今後の感染状況によっては、オンラインのみもしくは開催を中止する場合がございます。



### 申し込み先

● 電話：22-0452 ● FAX：23-5136

● 郵送：〒386-8601（住所記載不要）上田市議会事務局宛

## 健康づくり推進特別委員会

### 設置

「健幸都市」の実現に向けた市民の健康づくりに関する調査研究や、健康づくりを総合的に推進する基本条例制定の検討を目的として、特別委員会を設置しました。

#### ▶ 構成メンバー

委員長：佐藤清正

副委員長：池上喜美子

齊藤加代美、古市順子

林和明、池田総一郎

西沢逸郎



## 議会タブレット導入研究委員会

### 設置

議会におけるタブレット端末の導入に向けた調査や研究を目的として、研究委員会を設置しました。

#### ▶ 構成メンバー

委員長：半田大介

副委員長：林和明

石合祐太、金井清一

中村悠基、松尾卓

成瀬拓、金子和夫

飯島伴典



## 表紙デザインコンテスト受賞者の声

### 吉池定則さん

このたびは、「うえだ市議会だより表紙デザインコンテスト」において栄誉ある賞をいただき、ありがとうございます。

写真は、昨年の上田大花火大会の様子を常田新橋から撮影したものです。

今年の花火大会は中止となってしまいましたが、再びこの場所で撮影できることを願っています。